

## 「学校における業務改善プログラム&lt;第3版&gt;」体系図

(令和5年度～令和7年度)

北九州市教育委員会

ポストコロナ

## 効果的な教育活動の実現

新たな教育課題  
への対応

・自らの授業を磨く・日々の生活の質や教職人生を豊かにする・自らの人間性や創造性を高める

## 学校における業務改善の目的

- ◎ 子どもと向き合う時間の確保や、それに伴う指導準備時間の確保
- ◎ 教職員のワーク・ライフ・バランスの充実、メンタルヘルス等の健康保持

## 本プログラムの達成目標

- 月平均在校等時間が45時間以内の教職員の割合 … 100%
- 年次有給休暇の取得日数12日以上 of 教職員の割合 … 100%

## 目標達成のための具体的取組

1 ICTの活用による校務  
効率化

- (1) 各種申請・報告等のオンライン化
- (2) 学校・保護者間の連絡等のオンライン化
- (3) 共有サーバー内フォルダ体系の統一
- (4) オンライン型研修・会議の実施
- (5) 教員の採点業務に係る負担軽減
- (6) 業務用端末の一台化

2 持続可能な学校運営の  
ための工夫

- (1) 日課表の見直し
- (2) 平日における部活動実施時間の徹底
- (3) 児童生徒の最終下校時刻の設定
- (4) 学校行事のあり方見直し
- (5) 二学期制の検討
- (6) 「あゆみ」の簡素化

3 外部人材等の積極的活用  
による学校支援体制の充実

- (1) 教員業務支援員 (スクール・サポート・スタッフ) の配置拡充及び活用事例等の共有
- (2) 部活動指導員の配置拡充及び部活動の段階的な地域移行
- (3) 学校業務の外部委託等の検討

4 勤務時間や休暇取得を意識  
した計画的な業務遂行のため  
の勤務環境等整備

- (1) 定時退校日の設定
- (2) 学校閉庁日の設定
- (3) 留守番電話機能の活用
- (4) 弾力的な勤務時間の設定
- (5) 適切な休憩時間確保のための工夫

教育委員会



学校・園



保護者